

令和1年度 学校評価結果公表シート

学校法人 清香学園
清香学園幼稚園

1、本園の教育目標

・人格形成の基礎として本園のめざす子ども像

1. 自己肯定感の持てる子に
2. 共感の持てる子に
3. 少し我慢の出来る子に～折り合いのつける事の出来る人に～

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

子ども主導型の保育の中で探究心を深め、協同性を育む、及び保育室の十分な環境設定

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
探求心、協同性	日々の子ども達からの興味から生まれたテーマをうまく拾いながら、各クラス様々な活動に意欲的に取り組んでいたと思う。思いを伝え合ったり、試行錯誤しながら共に活動する楽しさを十分に味わっていた。又、作品展での取り組み等でも、自分たちで調べたり考えたり、相手の意見を聞いたりしながら、作り上げていく様子は保育者から見てもとても楽しいものであった。
保育者の環境設定	保育者主導型の保育から子ども主導型の保育へ移行していくなかで、カリキュラムの見直しが上手く進まず保育室の環境設定は満足いくものではなかった。2学期以降はどうしても行事中心になりがちで、子ども達の活動をつなげていける設定がなされていなかったため、次年度も引き続き意識を高め努力していく必要がある。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども一人ひとりと向き合い、興味関心のある題材をうまく拾いながら、保育を進めることが出来ていた。各クラス又は学年により少し差は見られたものの、行事以外は保育者主導型ではなく、子ども達の思いをある程度保育に反映する事が出来ており楽しい取り組みも多く見られた。

3学期の作品展の中でも、1年間の育ちを少しずつ保護者に伝える事が出来つつある。

しかしながらまだ2学期からは行事中心の保育になる事が多く、普段の取り組みとの兼ね合いがうまく行かず満足な環境設定もなされていなかった気がする。発表会練習期間中の保育室の確保

も試みてはみたが、大きな変化は見られなかった。職員一同、まずは目指す方向への共通認識を持ち、更に向上出来る様に協力して取り組む必要がある。
しっかりと専門性を磨き、保育者一人ひとりの資質向上を目指していかなければならないと思う。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
カリキュラム内容、各行事の具体的内容、改善 保育の可視化	職員間での共通目標を明確にし、出来る部分から改善、実践。方向性を決め従来の形を再構築。姉妹園との意見交換の充実。 保育内容の伝え方、手段等の改善、及び実践
園内研修、園外研修の充実	姉妹園、近隣園との交流、合同職員会議、合同研修 職員間での相談、意見交換、報告等の徹底、各研修への参加。 共通理解を徹底する為に園内研修の充実を図る
地域・家庭との連携、及び、子育て支援活動の充実	保・幼・小・中学校との連携の継続、発展 未就園児参加行事の継続、発展 保護者との個人面談、日常の保育等の自由見学設定。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると思われる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。